

会議録（要点記録）

会議名称	令和4年度 第4回小金井市精神保健福祉連絡協議会 部会		
開催日時	令和5年1月11日（水）14:00～15:25		
開催場所	ZOOM を使用し、オンラインで開催		
出席者等	委員：鈴木委員、東郷委員、杉山委員、藤原委員、小椋委員 事務局：自立生活支援課長、相談支援係長、相談支援係主事		
傍聴の可否	不可	傍聴者数	—
会議次第	<p>1 開会</p> <p>2 議題</p> <p>(1) 長期入院患者調査の実施状況について</p> <p>(2) 市からの事例検討</p> <p>(3) 各事業所から情報共有・意見交換</p> <p>(4) 今後のスケジュールについて</p> <p style="text-align: center;">次回日程 第3回協議会 令和5年2月14日（火） 14時～</p> <p>3 閉会</p>		
会議結果	<p>1 開会</p> <p>2 議題</p> <p>(1) 長期入院患者調査の実施状況について</p> <p>【市自立生活支援課】</p> <p>前回の協議会の結果を受け、市内の入院施設のある精神病院に対し退院促進の現況及びアンケートの回答があった方について調査をすることとした。現在連絡して日程調整中。調整次第調査する。</p> <p>また、前回の協議会で新たに3名の調査をすることになり調べたところ、いずれもすでに市が接触している者だった。うち1名はグループホームの空き待ち、1名は介護認定が出たためそれに基づいて今後の支援方針を検討中、1名は妄想症状が激しいため病院と調整中。</p> <p>（質問、意見）特になし。</p> <p>(2) 市からの事例検討</p> <p>【市自立生活支援課】</p> <p>20代男性、統合失調症、措置入院、医療保護入院歴有り。しかし病識が全くない。家族に暴力、暴言あり、家族を家から追い出した。このような問題行動が前面に出た方についてアドバイスをいただきたい。</p> <p>【小金井市児童発達支援センター きらり】</p> <p>受診状況はどうか。</p> <p>【市自立生活支援課】</p> <p>本人は通院せず家族が代わりに病院に行っている。服薬も途絶えている。</p>		

【小金井市児童発達支援センター きらり】

病識からか生活状況からかいずれかの切り口でアプローチするようにしたほうがいいのではないか。

【小金井市障害者就労支援センター】

似たようなケースをやっている。妄想、服薬中断などがありながらも仕事をしている人がいる。調子が悪くなり服薬、入院すると症状が軽くなる体験を繰り返している。精神症状があり服薬で改善することを自覚してもらっている。

【福祉総合相談窓口】

似たようなケースの相談がある。年末に埼玉県で殺人事件があったことで、本人の母が息子も同様の事件を起こすのではないかと不安になり相談に繋がった（埼玉県の事件は精神疾患の有無は報道されていない）。この方も症状から家族が家から閉め出されたというものである。未治療、医療中断ということならば保健所との連携が必要ではないか。こちらのケースも保健所に連絡したところ、保健師が事情を確認し支援することとなった。結果はまだ来ていない。

【小金井市権利擁護センター】

権利擁護にはあまり出ていないケース。本人が何に困っていてどうしたいのか、そこが大事であると考えている。今後は金銭的な問題もあるが別々に暮らすなど検討する必要があるのではないか。

【小金井市地域生活支援センターそら】

市のケースは保健所と連携しているか。

【市自立生活支援課】

連携している。母から市内の事業所に相談があり、市と保健所に相談するよう助言したと聞いている。家族が相談しているとのこと。

【小金井市地域生活支援センターそら】

入院歴はあるのか。

【市自立生活支援課】

2019年措置入院歴あり。

【小金井市地域生活支援センターそら】

このようなケースは福祉サービスに繋がりにくいと考えている。入院している方に似たようなケースがあったと記憶している。医療がどう解決するのかがポイントかと。病院とのやり取りが重要で、現状では本人が劇的に変わっているようなきっかけがあるとも考えづらい。入院などしてもらったことも検討する必要があるのではないか。

【市自立生活支援課】

再度必要があったら相談させていただく。

(3) 各事業所から情報共有・意見交換

【小金井市障害者地域自立生活支援センター】

令和5年2月に難病の方の講演会を開催する。訪問看護の事業所と連

携する。市報でお知らせする。

【小金井市地域生活支援センターそら】

居住サポートの利用者が増加している。地域移行の依頼がなく止まっている。どんどん取り組んでいきたいと考えている。

【小金井市権利擁護センター】

金銭管理事業の新規申し込みが継続している。扱える件数を増やしたがそれでも追いつかない。がんの末期患者や、若い人も増えている。最近の傾向としてスマホ決済などをされると金銭管理の目が行き届かず、支援に支障をきたしている。

【福祉総合相談窓口】

成人の引きこもりで家族が閉め出されることが最近よくある。症状の軽い精神疾患で夫婦関係が悪くなるケースが発生し、対応している。障害福祉と介護保険の重複するサービスの支給について市の関係部署での調整がうまくいかず支援が滞ることが発生している。また「地域の居場所づくり講座」を開催する。1月15日号の市報に掲載する。ぜひ参加してほしい。

【市自立生活支援課】

そのようなことが発生しないように注視する。

【小金井市障害者就労支援センター】

令和4年12月1日～16日事業所開所15周年事業を実施した。99名申し込みアンケート回答があったのが28名だった。結果も上々だった。最近の就労支援については定着支援事業の引継ぎが定着し、月に1～2名は引き継がれてくる状況。新規としては10数名からの連絡があり、登録に至るのは半分くらいの方となっている。具体的なケースとしては、権利擁護でお世話になっている人も含め金銭関連の支援で難航する方が多く、先月だけで5名いた。散財・キャッシング・SNSトラブルが増加し、SNS関連のよくわからない人に数十万円支払う等の詐欺被害等で2名が自己破産に至っている。

【小金井市児童発達支援センター きらり】

学校調整はまだ先だが、親のメンタル不調が子に影響するケースが発生している。子ども家庭支援センターと引き続き連携して対応していきたい。

【市自立生活支援課】

令和5年2月、3月に精神障害者ホームヘルパーフォローアップ研修、障がいの理解促進講演会を開催する。ぜひ参加してほしい。詳細は市報に掲載する。

(4) 今後のスケジュールについて

次回日程 第3回協議会 令和5年2月14日（火） 14時～

3 閉会

提出資料	なし
------	----